

絆で勝ち取った金賞ダブル受賞

8月に行われた新潟県大会の吹奏楽コンクールとマーチングコンテストの両方で金賞を受賞し、それぞれ県代表として西関東大会に出場した、分水中学校吹奏楽部。部長の伊藤愛光さん、顧問の伊藤照子さんにお話を伺いました。

「県大会で金賞を受賞し、県代表として西関東大会に出場することは大きな目標でもあり夢でした。受賞の瞬間は、驚きと喜びが溢れました」

受賞した時を振り返る部長の伊藤愛光さん。目標を達成するために、先輩・後輩関係なく発言しやすい雰囲気づくりを意識したそうです。

「チームとして壁にぶつかり、辛いことがあっても助け合いながら絆を深めました。技術の面だけでなく、気持ちの面でも一体となったことが金賞のダブル受賞に繋がったと思います」

部員17人、少数精鋭のチームとして西関東大会出場を決めた吹奏楽部。チームの強みを顧問の伊藤照子さんに教えてもらいました。



分水中学校吹奏楽部

● 部長：伊藤愛光さん / 顧問：伊藤照子さん

「人数が少ないため、一人ひとりが重要なパートを担い『全員合奏』をしています。今年の春から吹奏楽を始め、ばかりの1年生もいますが、先輩がサポートし、団結力・協力を養うことができました」

県大会の後、限られている時間で、完成度を高めて出場した西関東大会。結果は、どちらも銅賞を受賞しました。

11月から動き出す新チーム。部長の伊藤さんは先輩の更なる活躍に期待を寄せています。

「全員がまとまって、最後までやり遂げるという思いを持ち、新チームの個性を出して活動していったほしいです。そうすることで、自ずと結果はついてくると思います」



▲9月に山梨県で開かれた吹奏楽コンクールの西関東大会で演奏する分水中学校吹奏楽部（学校提供）。10月には、群馬県でマーチングコンテストの西関東大会に出場しました。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



広報つばめ・子ども版「もつと、ギョッと、つばめっ子ニュース」の第12号が完成しました。

小学5・6年生12人の子ども記者が3チームに分かれて、4カ月にわたり企画、取材、編集の作業をすべて自分たちで行いました。

本号と一緒に配布しますので、ご覧ください。とても素晴らしい出来栄です。みなさんも子ども記者12期生の努力に大きな拍手を送ってください。

先日、子ども記者1期生の一人が県内のテレビ局に就職したことを耳にしました。子ども広報での経験が職業選択の契機になったそうです。うれしいですね。

◀こちらは有料広告です。

中越・県央エリア
ご利用世帯数
69,000
世帯

インターネット・ケーブルテレビ・電話

NCT

燕・分水・吉田 エリア お申し込み 好評受付中!

エヌ・シー・ディ 0120-080-009

Wi-Fi
インターネット

アンテナ不要
ケーブルテレビ

通話料がオトク
固定電話

「お友達」と「ご紹介いただいたお客様」それぞれに

5,000円分プレゼント!

※キャンペーンは予告なく変更・終了する場合がございます。

お友達紹介キャンペーン

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。